

平成22年度

施策評価シート

No.1

推進目標	江差町の教育の推進	部門別計画(施策)	教育委員会総体			
基本事業(施策)名	教育委員会費	担当係	生涯学習課総務係			
基本事業(施策)の対象	教育委員会に係る事務					
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の意見を聞くことによる教育行政の民意を反映した計画の決定 ・教育行政に関するより深い理解を得てもらうための啓発・周知 ・教育長が教育委員会を代表して教育委員会の対外的な活動を推進(教育長交際費) ・教育、スポーツ、文化活動において優秀な成績者への顕彰をすると共に江差町の教育、文化、スポーツの発展に寄与する。 					
事務事業の評価						
施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	教育委員報酬等	1,087,780	5	5	5	
	教育長交際費	117,888	5	5	5	
	教育委員会表彰	65,271	5	5	5	
	教育委員会の開催		5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
教育委員会	評価	・定例及び臨時の教育委員会の開催ほか、町内の学校訪問・表彰式の挙行など優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。				
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		評価は妥当と認める。 学校との連携を深める努力を今後とも継続すること。				

平成22年度

施策評価シート

No.2

推進目標	江差町の教育の推進	部門別計画(施策)	教育委員会総体		
基本事業(施策)名	事務局費	担当係	生涯学習課総務係		
基本事業(施策)の対象	教育委員会事務局に係る事務				
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・江差町奨学金運営委員会の開催、奨学金貸付の審査及び運営の助言 ・教育委員会の運営、事業の実施に係る事務、研修会等の出席、負担金等 ・教育委員会事務局職員に係る給料及び各種手当等 				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
奨学金	249,396	5	4	5	
事務局運営費	2,545,929	5	5	5	
職員人件費	111,547,152	5	5	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
教育委員会	評価	・事務局運営に必要な経費及び教育委員会職員の人件費を支出しており、成果が上がっている。 ・補助団体の経理に関連し、職員2名が懲戒処分の上、1名が依願退職する事件があり、町教委として会計事務改善対応を定め取り組んできました。			
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		評価は妥当と認める。 奨学金については、高校の無償化などの社会的変化もあり、それらに対応した制度設計も検討していくべきである。 奨学金の滞納整理については、今後新たな滞納を生まない観点から貸付の段階からの滞納防止対策の検討をするとともに、整理について一層の努力を期待する。 補助金マニュアルと教委独自の会計事務改善対応を厳正に実施し、不適切な会計処理が今後起こらないことを望む。			

平成22年度

施策評価シート

No.3

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	小学校管理費	担当係	生涯学習課総務係
基本事業(施策)の対象	教職員住宅管理、スクールバス運行事務		
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の校舎等教育環境の整備(江差小学校耐震工事含む。) ・教職員住宅49戸に係る維持補修 ・江差北小学校児童のための通学バス運行 		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
教職員住宅	824,215	5	5	4	
スクールバス委託	7,536,100	5	4	5	
小学校整備事業	106,951,001	5	5	5	
町内小学校の設備保守点検	4,364,220	5	5	5	
小学校営繕	1,873,154	5	5	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)
 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・江差小学校耐震工事、学校施設改修工事の充実、スクールバスの運行等、学校及び児童の教育環境整備が図られた。教職員住宅の整備については、全ての要望に応えることができなかった。 ・江差小学校の残耐震工事について継続して取り組み早期に完了する必要がある。 ・寄付歳入があり、学校図書が補充が図られた。 		
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		
外部評価委員会の意見		評価は妥当と認める。 財政状況が極めて厳しい中で、平成21年度の繰越事業ではあるが、江差小学校校舎の地震に対する耐震性能である構造耐震判定指標が一番弱いと考えられる中央ピロティ一棟の耐震補強工事が平成22年度に実施されたことは、非常に喜ばしいことであり、残工事を継続して実施していくこと。耐震性能について不明である江差中学校の対策に早期に取り組み安全安心な教育環境の整備を図ること。 北部小・中学校は統合校であり、教室数が不足気味に見受けられ、昨今増加している特別支援学級の教室については、計画的に整備を図ること。 スクールバスの効果的活用について町と検討を継続すること。		

平成22年度

施策評価シート

No.4

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	小学校管理	担当係	生涯学習課学校教育係
基本事業(施策)の対象	小学校教育に関する学校運営及び施設管理		
基本事業(施策)の意図	《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・児童の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具及び学校図書の整備 ・学校施設の維持管理 ・「中1ギャップ」問題未然防止事業		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
公務補の配置	6,128,439	5	5	5	
各種健診	1,877,270	5	4	5	
教材教具・消耗品の整備	7,469,241	5	5	4	
学校管理	28,489,596	5	4	4	
「中1ギャップ」問題未然防止事業	217,858	5	5	5	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の設置や修繕費の負担及び光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び児童(新就学児童含む)の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具を整備することが図られた。また学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備するとともに、学校図書の充実を図り、読書活動の推進に努めた。 ・「中1ギャップ」未然防止事業については、北海道からの委託事業であるが、小中一貫教育を推進する上では共通する部分もあり、小・中学校の円滑な接続に更なる期待と成果を望むことが出来た。		
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		
外部評価委員会の意見		評価は妥当と認められる。 公務補の業務の特殊性を考慮して待遇の改善について継続検討すること。 小中一貫教育の関連で実施している中1ギャップ未然防止事業については、学校と地域との連携を深めた中でより一層の充実を図ること。		

平成22年度

施策評価シート

No.5

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	小学校教育振興費	担当係	生涯学習課学校教育係
基本事業(施策)の対象	小学校の教育振興にかかる事務		
基本事業(施策)の意図	<p>《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の加配を通じて個に応じた指導方法の工夫改善を実施し、個々の児童の学力の向上を図る。 ・ADHD・LDなどの学習障害を持つ児童に対する特別支援教育の充実 ・運動競技や外部講師による授業を通じ、心身共に豊かな児童の育成 ・低収入世帯の児童に対する学用品費や給食費等の援助 ・江差北小中学校における小中一貫教育の推進 		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
小学校教育振興事務	520,820	5	4	4	
特別支援教育支援員配置	3,963,215	5	5	5	
江差町特別支援教育連絡会議の開催		5	4	5	
江差町子どもの健康づくり推進会議の開催		5	4	4	
退職教員等外部人材活用事業		5	4	5	
詩人麻生直子氏による授業		5	5	5	
要保護・準要保護生徒援助	2,792,635	5	5	4	
小中一貫教育推進	300,000	5	4	5	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	<p>・町内の各学校に特別支援学級が設置されているが、普通学級においても学習障害、自閉症等で学校生活及び授業において支援を要する生徒が在籍しており、支援員を配置することにより、円滑な学校・学級運営に資することができる。平成22年度においては、江差小学校・南が丘小学校に各1名配置し、学校からは配置の継続、増員を要望されている。</p> <p>・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。</p> <p>・心身ともに豊かな児童の育成を目指すことを目的に、小体連の運営を補助した。</p> <p>・各種教育団体への補助を通じ、学校及び教職員の研修意欲を高めた。</p> <p>・教職員以外の外部の人材を活用し授業を行い、児童の興味、関心をひく授業を行うことができた。</p> <p>・小中一貫の意義の習得及び教師及び地域住民の気運の高まりが図られた。</p>			
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		<p>評価は妥当と認める。</p> <p>特別支援学級のほか通常学級に在籍する特別支援教育を必要とする児童数は増加しており、そのニーズも高まっているので支援員の増員を図ること。</p> <p>町独自の研修も含めて教職員の各種研修について積極的に行っているが、より教職員の質、指導力の向上を図るための方策を検討すること。</p> <p>児童の学力向上を図るため、国、道の制度を活用し、TTや習熟度別事業等の取り入れを図ること。</p> <p>小中学校義務教育9年間で、子どもたちを育てる小中一貫教育は、地域との連携を深めた中でさらに一層の推進を図ること。</p>			

平成22年度

施策評価シート

No.6

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	中学校管理費	担当係	生涯学習課総務係		
基本事業(施策)の対象	江差中学校整備、スクールバスの運行事務				
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の校舎等教育環境の整備 ・江差北中学校生徒のための通学バス運行 				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
中学校教育環境整備事業	523,915	5	5	5	
スクールバス委託	7,486,950	5	4	5	
町内中学校の設備保守点検	680,610	5	5	5	
中学校営繕	1,367,213	5	5	4	
<p>※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)</p> <p>増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1</p>					
教育委員会	評価	<p>・寄付歳入があり、学校図書¹の補充が図られた。国の交付金を活用し、中学校設備改修(江差中学校給水管・家庭科室水抜修繕工事)を実施し、教育環境の充実が図られた。</p>			
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		<p>評価は妥当と認める。 スクールバスの効果的な活用について町と検討を継続すること。 地震に対する耐震性能が不明の江差中学校校舎・体育館については、その対策に早期に取り組み安全安心な教育環境の整備を図ること。 なお、その整備の際は現在の中学校校舎・体育館利用のみならず将来を見越した長期展望にたった整備となることを期待する。</p>			

平成22年度

施策評価シート

No.7

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	中学校管理	担当係	生涯学習課学校教育係
基本事業(施策)の対象	中学校教育に関する学校運営及び施設管理		
基本事業(施策)の意図	《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・生徒の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具及び学校図書の整備 ・学校施設の維持管理		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
公務補の配置	6,248,238	5	5	5	
各種健診	1,015,007	5	4	5	
教材教具・消耗品の整備	4,943,646	5	5	4	
学校管理	7,730,537	5	4	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の設置や修繕費の負担及び光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び生徒の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具を整備することが図られた。また学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備するとともに、学校図書の充実を図り、読書活動の推進に努めた。			
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		評価は妥当と認められる。 公務補の業務の特殊性を考慮して待遇の改善について継続検討すること。			

平成22年度

施策評価シート

No.8

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	中学校教育振興費	担当係	生涯学習課学校教育係
基本事業(施策)の対象	中学校の教育振興に係る事務		
基本事業(施策)の意図	<p>《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動などを通じ、心身ともに健康で豊かな生徒の育成 ・低収入世帯の生徒に対する学用品費や給食費等の援助 ・中学校武道教育推進 		

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
中学校教育振興事務	104,000	5	4	4	
中体連等出場補助	1,955,793	5	4	4	
スクールカウンセラー活用事業		5	5	5	
要保護・準要保護生徒援助	3,483,050	5	5	4	
中学校武道教育推進	3,237,950	5	5	5	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年まで江差中学校に配置していた特別支援教育支援員については、支援員総数(2名)の関係から江小に配置し、配置を見送ったが、特別支援教育を必要とする生徒は増加しておりそのニーズは高まっている。 ・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。 ・心身ともに豊かな生徒の育成を目指し、また、保護者の負担を軽減することにより生徒が積極的に中体連や吹奏楽祭などに出場できるよう経費の一部を補助している。 ・平成24年度より中学校体育科に武道が必修科目となることから、移行期間中である22年度に江差中学校に武道教育教材(柔道)の整備が図られた。 	
	事業の方向性	○	<p>さらに重点化する</p> <p>現状のまま継続する</p> <p>見直しのうえ継続する</p> <p>事業の縮小を検討する</p> <p>休止、廃止を検討する</p>
外部評価委員会の意見		<p>評価は妥当と認める。</p> <p>中学校については現在支援員の配置はないが、特別支援学級のほか通常学級に在籍する特別支援教育を必要とする生徒数は増加しており、そのニーズも高まっているので支援員の増員を図ること。</p> <p>町独自の研修も含めて教職員の各種研修について積極的に行っているが、より教職員の質、指導力の向上を図るための方策を検討すること。</p> <p>生徒の学力向上を図るため、国、道の制度を活用し、TTや習熟度別事業等の取り入れを図ること。</p> <p>小中学校義務教育9年間で、子どもたちを育てる小中一貫教育は、地域との連携を深めた中でさらに一層の推進を図ること。</p> <p>中学校になって顕在化する不登校に対する中1ギャップ未然防止対策事業については、小中一貫教育の一環として大学等の専門機関との連携を深めた中で一層の推進を図ること。</p>	

平成22年度

施策評価シート

No.9

推進目標	幼児教育の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	幼稚園管理費	担当係	生涯学習課総務係		
基本事業(施策)の対象	幼稚園に係る運営管理、事務				
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園への就園奨励費補助 ・江差幼稚園に対する運営費の一部補助 ・幼稚園教諭の出張、休暇等の際の代替教諭の雇用 ・あすなろ幼稚園事務(園長の報酬、運営に係る経費、施設の維持及び管理に係る経費、研修会等の参加)に係る経費 ・幼稚園支援事業(地域づくり総合交付金の活用) 				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
幼稚園管理	4,707,378	5	4	4	
幼稚園代替教諭	214,020	5	5	5	
私立幼稚園就園奨励費補助金	1,653,800	5	5	4	
私立幼稚園運営補助	513,000	5	5	5	
幼稚園体験入園(未就園児対象)		5	5	5	
幼稚園教育支援事業(地域づくり総合交付金事業)	700,000	5	5	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
教育委員会	評価	・私立幼稚園への運営、事業費補助及び幼稚園就園奨励費補助金を支出し、幼稚園の安定的経営、保護者の負担軽減が図られた。 ・あすなろ幼稚園に係る運営体制を維持し、幼児教育の充実が図られた。また、未就園児を対象に、幼稚園体験入園を開催するなど、幼稚園児確保の取り組みが図られた。			
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		評価は妥当と認める。 将来的な幼児教育や保育のありかたについて町部局との検討を継続すること。			

平成22年度

施策評価シート

No.10

推進目標	家庭・地域の教育力の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	奨学金貸付事務	担当係	生涯学習課総務係		
基本事業(施策)の対象	奨学金の貸付				
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・江差町に住所を有する者の子女で、高校、高等専門学校及び大学に進学を希望するも経済的理由により就学困難な者に対し、学資を貸与し、もって有能な人材の育成と確保を図る。 ・滞納整理の実施 				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
奨学金貸付	3,744,000	5	4	4	
奨学資金積立金	3,744,000	5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新規貸付については、就学に必要な奨学金を貸付し、保護者の負担軽減を図ることができた。(大学生等1名、高校生等5名へ貸付) ・継続貸付者(大学等6名、高校等5名)への奨学金を貸付 ・償還金の滞納整理の実施。(不納欠損2件 226,000円) 			
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		評価は妥当と認める。 奨学金については、高校の無償化などの社会的変化もあり、それらに対応した制度設計も検討すること。 平成22年度末から不納欠損処理も実施されるようになったようであるが、それらによる法的整理とあいまって、従前以上に奨学金の滞納整理については、今後新たな滞納を生まない観点から貸付の段階からの滞納防止対策の検討をするとともに、整理について一層の努力をすること。			

平成22年度

施策評価シート

No.11

推進目標	明るい未来を目指し、子ども達の夢を育む青少年教育の充実	部門別計画(施策)	社会教育
基本事業(施策)名	社会教育総務費、生涯学習推進費	担当係	生涯学習課社会教育係
基本事業(施策)の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・江差の特色を生かした体験活動の推進 ・青少年健全育成のための安全安心な環境整備 		
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の自然や文化、歴史に感動する学習活動、体験機会の拡充 ・各種団体、組織などの活動を活用した体験、世代間交流機会の拡充 ・家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成活動の充実 ・ふるさとの一員として郷土愛を実感できる機会の拡充 		

事務事業の評価

推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	社会教育総務費、生涯学習推進費事業(シートNo.11~13)	7,271,614				
1-1	冒険王クラブ、学校への芸術家派遣事業、生涯学習バス運行など		5	5	4	
1-2	子ども会百人一首大会、江差町少年の主張など		5	5	5	
2-1	江差町青少年健全育成会議、校区推進会議活動支援、学校地域支援本部事業など		5	5	4	
2-2	成人式・新成人を祝う会開催など		5	5	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・少年教育は、江差の宝である民謡「江差追分」を小・中学校全ての学校で学習し、郷土愛を育む授業を展開していることや、水泳やスキー学習といった地域の特色を生かした授業を実施している。また、実施にあたっては、江差追分会、スイミングクラブ、スキークラブなどの協力をいただいて実施されており、地域全体で教育に携わる仕組みづくりに寄与。 ・いじめ問題や不審者対策等については、江差町青少年健全育成会議が中心となって、子どもの見守り活動やあいさつ運動を積極的に取り組んでいることや、安全安心啓発チラシを配付するなどをして、町民に注意喚起しているところである。 ・青年教育は、町外に多くの青年層が進学や就職で町外に流出している中で、成人式等に参加・交流することで、ふるさと江差の良さを再認識できる機会を提供している。 ・少年や青年を取り巻く環境は、時代の波とともに著しく変化し、今後においてもその時代に合致した学習の提供や環境整備を引き続き積極的にとり進めなければならない。 	
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・青少年の健全育成に関しては、健全育成会議のみならず他団体との連携を図り、総合的な取り組みができる環境を構築すること。 	

平成22年度

施策評価シート

No.12

推進目標		活気があり、人々が支え合い安心して生きる成人教育の充実	部門別計画(施策)	社会教育		
基本事業(施策)名		社会教育総務費、生涯学習推進費	担当係	生涯学習課社会教育係		
基本事業(施策)の対象		<ul style="list-style-type: none"> ・現代的課題に対応する学習活動の拡充 ・地域住民が支え合う学びあう地域活動への参加 				
基本事業(施策)の意図		<ul style="list-style-type: none"> ・多様化、高度化する学習ニーズに応える学習、活動環境の充実 ・地域づくりを促進するための学習機会と広報、啓発活動の充実 ・中高年、高齢者の学習機会、世代間交流機会、社会参加の充実 ・ボランティア活動への支援 ・協働のまちづくりの実践 ・地域間交流、国際交流の推進 				
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	社会教育総務費、生涯学習推進費事業(シートNo.11~13)	7,271,614				
1-1	文化協会・体育協会活動支援、自主活動支援		5	5	4	
1-2	広報・インターネット活用		4	5	3	
1-3	シニア江差学園、江差スクールの開催		5	4	4	
2-1	町内会、各種ボランティア活動との連携		5	5	4	
2-2	運動公園整備、子どもの居場所づくり、江差学など		4	4	3	
2-3	近隣町との連携、国際交流協会の支援		4	2	2	
<p>※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)</p> <p>増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1</p>						
教育委員会	評価	<p>・高齢者教育は、主にシニアカレッジ江差学園を通して実施している。1年を通じて、生涯学習を目的としたカリキュラムを設定しながら、学習している。学習の成果発表の場として、自らが学んだことを学園祭を通して、地域に還元している。昨年度より学園生が主体的にサークル活動を展開した。また、世代間交流を通して、おはじやお手玉等の昔遊びを小学生と一緒に体験し、少年教育にも貢献している。</p> <p>・一方で成人教育を提供する場が少ないことや社会教育関係団体のデータ更新がなされてなく、今後において活動状況を把握することや社会教育関係団体の一覧を整理し、情報提供に努めることが求められている。</p> <p>・毎年8月下旬に10日間程の日程で実施している国際交流事業は、残念ながら受け入れ家庭を確保できなかったことに伴い、中止せざるを得なかった。毎年、児童は異国の文化に触れる体験を楽しみにしており、受け入れ家庭の確保対策が課題となっている。</p>				
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・国際交流事業、特に留学生の受け入れについては継続的に実施すること。 				

平成22年度

施策評価シート

No.13

推進目標	子育てに喜びを感じ、成長に感動できる家庭教育の充実	部門別計画(施策)	社会教育
基本事業(施策)名	社会教育総務費、生涯学習推進費	担当係	生涯学習課社会教育係
基本事業(施策)の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成、安心安全なまちづくりの推進 ・親子の絆を深める子育て支援の充実 		
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての町民が参画して行う安心安全なまちづくり活動の推進 ・社会教育施設及び公共施設を活用した子どもの居場所づくり ・家庭、学校、地域の教育力向上 ・家庭の教育力を高める学習機会の充実 ・関係団体、組織と連携した子育て支援環境の充実 		

事務事業の評価

推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	社会教育総務費、生涯学習推進費事業(シートNo.11~13)	7,271,614				
1-1	安全安心見守り活動、青色回転灯パトロール車配置など		5	5	4	
1-2	図書館との連携、公共施設利用の子ども居場所づくりなど		4	3	3	
1-3	学校、PTAとの連携		5	5	4	
2-1	親子交流(釣体験、うどん打ち体験)、家庭教育講演会 江差町PTA研究大会		5	5	4	
2-2	子育て支援(学校教育、町民福祉課)連携の取り組み		4	3	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と教委連携の下、「早寝、早起き、朝ごはん」の取り組みを推奨し家庭教育の向上に努めている。 ・江差町青少年健全育成会議と連携を図りながら、安全安心なまちづくり等を推進している。また、家庭の教育力を高める学習機会の充実においては、檜山PTA研究大会が江差町で開催され、日本PTA全国協議会理事等を務める「磯野爽」氏による「ケータイやインターネットトラブルから子どもたちを守る」と題した講演で、高度情報化社会が子どもにも及ぼす影響、問題点と対策について講話され、家庭教育の向上が図られた。 ・家庭の教育力向上のために、読み聞かせサークル、江差町PTA連絡協議会、江差町消費者協会、江差町食生活改善推進協議会など、様々な団体が自主的に活動し、成果をあげている。 ・子どもの居場所づくりについては、場所の確保、人材の確保の課題が残されており、対象児童の把握や地域の連携について検討していく。 	
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・講演会を契機に、携帯電話やインターネットのトラブルから子どもを守る取組みを継続的に行うこと。 ・近年、子ども達の挨拶が低下傾向にあることから、意識向上の取組みを行うこと。 	

平成22年度

施策評価シート

No.14

推進目標	学び続け、自らを高め、明日を拓く図書館活動の充実		部門別計画(施策)	教育委員会		
基本事業(施策)名	図書館機能の向上・利用促進		担当係	図書館図書係		
基本事業(施策)の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料整備 ・全ての世代・全域に対するサービスの向上 ・家庭教育への支援など社会教育活動の充実 					
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 情報の収集 ・学習支援・レファレンス機能の充実 ・図書館運営の充実 ・学校との連携 ・通年全域サービス ・子どもの読書環境整備 高齢者向けサービスの充実 ・保健事業 子育て支援事業との連携 ・サークル活動支援 					
事務事業の評価						
推進計画 該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	図書館費事業	5,869,606				
1-1	図書購入など		5	3	3	
1-2	相互貸借 レファレンス業務推進など		4	4	3	
1-3	広報活動 テーマ展示 クリスマス会など		4	4	3	
1-4	学校貸出 学校訪問読み聞かせなど		4	4	4	
2-1	移動図書館車運行 地域配本所		4	3	4	
2-2	ブックスタートフォローアップ		4	4	4	
2-3	大活字本整備 拡大読書機		4	3	3	
3-1	ブックスタート事業 絵本読み聞かせ		4	4	4	
3-2	読み聞かせ会		4	5	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)						
増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・資料費不足のため住民の学習意欲に十分に答えられていない部分があるものの、相互貸借や横断検索等の図書館機能を発揮するための工夫がある。 ・継続した寄附があり資料費の不足が補われている。 ・移動図書館では距離的に図書館の利用が困難な地区の住民にサービスの提供ができたが、運行休止期間の対策が必要。 ・ブックスタート及びフォローアップ事業での子どもの発達段階に応じた取組により、乳幼児期から継続して本に親しむ環境が整備されつつあり、図書館利用にもつながっている。 ・ボランティアの積極的な活動により家庭教育・学校教育との連携が進んでおり、需要の増加に対応できるよう人材の養成と研修が必要。 				
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・一人当たりの貸出し冊数が全道平均を下回っていることから、図書館に足を運んでもらう対策を図ること。 				

平成22年度

施策評価シート

No.15

推進目標	文化を高め心豊に生きる芸術文化活動の充実	部門別計画(施策)	社会教育
基本事業(施策)名	文化会館管理費・文化振興費	担当係	生涯学習課社会教育係
基本事業(施策)の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化の創作・発表機会の充実 ・芸術文化に親しむ機械の拡充 ・芸術文化環境の整備充実 		
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・町民芸術文化活動への支援 ・芸術文化を活用した交流機会の充実 ・舞台芸術など鑑賞機会の充実 ・大規模コンベンションなど積極的な誘致 ・芸術文化環境の管理運営 ・施設設備の充実 		

事務事業の評価

推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	文化会館管理費・文化振興費事業	23,949,128				
1-1	文化協会の運営、加盟団体への活動支援補助		5	5	5	
1-2	みちくさ事業、江差町文化祭		5	5	5	
2-1	文化祭舞台発表、ピアノ発表など		5	5	4	
2-2	江差追分全国大会など開催		5	5	4	
3-1	施設管理運営費		5	5	4	
3-2	施設の保守点検		4	3	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・町民文化祭の開催や加盟団体及び町民による自主的発表の場として、みちくさギャラリー、みちくさコンサートを実施。加盟団体は高齢化により、解散・退会団体もあるが、新たな加入もある。みちくさ事業は単独開催ではなく複数の団体による開催という良い方向に向かっている。 ・施設は約20年経過し、老朽化が進み、特に音響照明、空調、電気設備が改修を要する状況である。財政事情により緊急度の高いものから維持補修を実施し、場の提供に努める。 	
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	

外部評価委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・文化会館は、オープン以来20年が経過している状況から、不具合箇所がある場合にはこれまで同様に維持補修を重ね、施設として快適な場を提供するよう努めること。 ・各種芸術文化に触れる機会を提供するよう努めること。
------------	--

平成22年度

施策評価シート

No.16

推進目標		ふるさとの自然と貴重な文化遺産を未来に伝える文化財・博物館活動の充実		部門別計画(施策)		社会教育		
基本事業(施策)名		文化財保護費		担当係		生涯学習課地域文化係		
基本事業(施策)の対象		<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保存と伝承 博物館活動の充実 						
基本事業(施策)の意図		<ul style="list-style-type: none"> 先人より受け継いできた文化財等の保存・伝承 学校や関係団体と協働しながら、博物館施設で行う資料の収集・保管、調査・研究、展示、教育普及などの充実 						
事務事業の評価								
施策目的のための事務事業				事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	文化財保護事業費			14,194,019				
1-1	文化財建造物の保存・伝承				5	4	4	
1-2	無形民俗文化財の保存・伝承				5	5	5	
1-3	埋蔵文化財の保存				5	5	4	
1-4	文化財の調査・指定				5	5	4	
1-5	文化財保護思想の啓発				5	5	4	
2-1	資料の受入・整理(町民よりの資料受入など)				5	5	5	
2-2	資料の調査・研究(企画展調査など)				5	5	4	
2-3	資料の展示(常設展・企画展など)				5	5	5	
2-4	教育普及活動(「古文書講読」「郷土誌講座」など)				5	5	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1								
教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> 文化財建造物の不都合箇所については、適宜修理を行った。 横山家修復、開陽丸船体については具体化に至らず。 「江差学」具体化に向け、協議中。 郷土資料館において2回の企画展を行い、町内外からの来館者を得た。 町内の小学校授業において、郷土資料館や博物館活動を利用させていただく機会が増えた。 						
	事業の方向性				○	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する		
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> 評価は妥当と認める。 「江差学」や「ふるさと江差発見学習」は、我が町に誇りを持たせる事業でもあるため実現化を図ること。 ふるさと江差に関する学習を向上させるための検定も視野に入れていただきたい。 						

平成22年度

施策評価シート

No.17

推進目標	健康で楽しく、さわやかに生きる生涯スポーツの充実	部門別計画(施策)	社会教育
基本事業(施策)名	保健体育総務費、体育施設費	担当係	生涯学習課社会教育係
基本事業(施策)の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの環境整備・充実 		
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・各時期に応じたスポーツの普及 ・地域の特色を活かしたスポーツの普及 ・学校体育授業及び部活動への支援 ・スポーツ活動の指導体制確立とスポーツ団体の育成 ・スポーツ施設の管理、運営 ・スポーツ施設の有効活用 		

事務事業の評価

推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	保健体育総務費、体育施設費事業	14,758,334				
1-1	スイミングスクール、スキーレッスン、管内スポーツフェスタ		5	5	4	
	体協まつり、学年レク支援など					
1-2	江差ヨット大会など		5	5	4	
1-3	スキーレンタル、スポーツ少年団員交流など		5	5	4	
2-1	体育指導委員の会議、体育協会支援など		5	5	3	
2-2	運動公園などスポーツ施設の管理運営		5	4	4	
2-3	学校体育館開放、マナビック使用補填		5	4	4	
	学校給食センター負担金	36,884,000	5	5	5	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力低下が叫ばれる中、地域の特性を生かした水泳スクールやスキーレッスンを始め、多くの児童が参加しスポーツに興味を抱くカリキュラムを提供している。 ・体育協会やスポーツ少年団加盟団体においても、主体的に運営され、健康維持などにも努めている。 ・リサイクルスキーで回収していた在庫カービングスキーのチューナップ補修整備により、ある程度の小、中学生のスキー不足が解消された。 ・家庭教育と運動し、町内会や愛好者が主体的に手作りパークゴルフ場(3箇所)の管理についてボランティアで実施されており、地域コミュニティの確立も醸成されている。 ・運動公園夜間管理人及び水堀町民プール管理人を対象に普通救命講習を実施し、安全管理の確保に努めている。 ・一方ライフスタイルが多様化する中で、多種多様なスポーツや健康づくりの気運を高めるための取り組みが不足しており、町民一人ひとりが健康づくりをできるように積極的に情報提供することが必要である。 ・函館地方道新会より桜の寄贈を受け、江差小学生による植樹を運動公園で実施し、景観美化活動を実施した。 				
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・イースタン公式戦を機に、大会や合宿を継続的に誘致するよう努力すること。 				